

MAGIC
The Gathering

コンスピラシー

王位争奪



プレイガイド



マジック：ザ・ギャザリング — 『コンスピラシー：王位争奪』とは

通常ブロック・ローテーションには含まれない単独のセットで、多人数戦でのブースタードラフトにフォーカスしたマジック：ザ・ギャザリング史上初のセットであった『コンスピラシー』の第2弾です。今回もドラフト中に機能する能力や、多人数戦を想定した数々の能力によって今までにないブースタードラフトを体験できます。

コンスピラシードラフト

準備するもの

◆基本土地カード

デッキを構築するためには基本土地カードが必須となります。お店のプレイスペースで遊ぶ場合は、お店で貸出をしてくれるところもあるのでお店の方に聞いてみましょう。お店に貸出用がない場合や誰かの家に集まって行う場合は、一緒にプレイする人で揃えることとなりますが、目安は平地・島・沼・山・森をそれぞれ5枚ずつを1セットとして人数分用意しましょう。

◆メモ用紙とペン

『コンスピラシー：王位争奪』のカードには、ドラフト中やゲーム開始前に情報を記録するものがあります。使用するまで非公開なものもあれば、参加者全員がわかるように記録するものもあります。ドラフトテーブルに付箋や小さいメモ用紙とペンを一組用意しましょう。

◆パックの準備

ブースターパックは通常のドラフトと同じように一人3パック使用します。参加人数×『コンスピラシー：王位争奪』3パックを用意しましょう。



◆ドラフトする人数

コンスピラシードラフトは通常のドラフトとは異なり、1テーブルで6～10人でドラフトを行い、その後3～5人のグループに分かれて多人数戦を行います。もちろん10人以上集まっても行えますが、その際はドラフトを行うテーブルを6人以上になるように複数作りましょう。もし5人以下になってしまった場合は、グループを分けずにドラフトも対戦も同じメンバーで行います。

コンスピラシードラフトと通常のドラフトの違い

コンスピラシードラフトの特徴として、ドラフト中に機能する能力や、ドラフト中に記録した情報がゲームに影響を及ぼす能力を持つカードがあります。前作から引き続き登場するものや、『コンスピラシー：王位争奪』から新しく登場した各能力は後述しているのでそちらをご確認ください。これらコンスピラシー特有のカードによる行動以外は普通のドラフトや多人数戦のルールと変わりません。

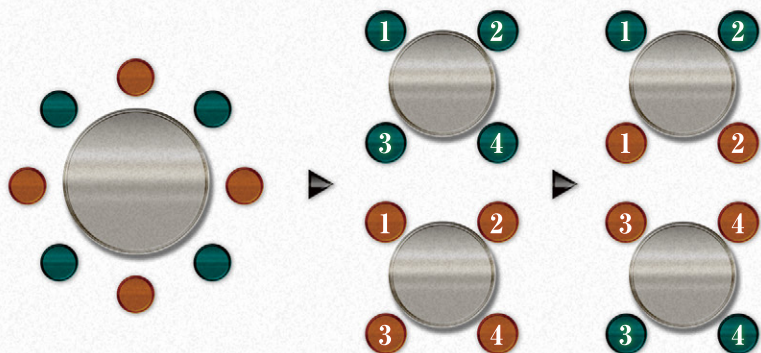
次のページから、対戦組み合わせと多人数戦のルールを紹介します。



対戦組み合わせ

『コンスピラシー：王位争奪』は多人数戦でプレイするように設計されているため、3人以上で1つの対戦テーブルとなるようにプレイヤーを分割します。たとえば、8人でドラフトをした場合には4人ずつに分かれて2つの対戦テーブルを作ることになります。4人でドラフトしたときはそのまま4人で対戦します。

1戦目は一人置きに飛ばした4人で対戦し、2戦目以降は各対戦テーブルでの生き残った順で順位をつけて、その順位ごとにテーブルを分けるとよいでしょう。



多人数戦のルール

多人数戦にはさまざまなルールが存在しますが、まずはプレイヤーそれぞれが個人として競い合い、自分以外は全員敵となる「無差別戦」で行うことを推奨します。

勝利条件

対戦しているテーブル内で、最後まで残っていた一人が勝者となります。順位を付ける場合は、残っていた時間が長い人ほど上位とするとよいでしょう。

マリガンルール

各プレイヤーが最初にマリガンを行う場合、6枚ではなく7枚のカードを引く。それ以降のマリガンでは、通常通りマリガン1回につき1枚ずつ引ける枚数が減っていきます。

開始プレイヤーのドロ

多人数戦ではすべてのプレイヤーが最初のターンからドロができます。1対1の時のような先手プレイヤーが最初のドロをスキップするようなことはありません。

選択式ルール

「無差別戦」のルールの中には選択できるルール(影響範囲限定と攻撃可能範囲)があるので集まったプレイヤー同士でどのルールでやるかを決めてプレイしましょう。

影響範囲限定:

基本的に「無差別戦」においては、「影響範囲限定」を行いませんが、行なう場合はすべてのプレイヤーが同じ広さの影響範囲を持ち、その広さはプレイ開始前に決めます。影響範囲とは、そのプレイヤーから何プレイヤー分離れたところまでそのプレイヤーの呪文、能力、効果、ダメージ、攻撃、選択、勝利の影響が及ぶかという距離のことを指します。

攻撃可能範囲:

プレイ開始前に、以下の選択ルールのうちどれを使用するかを決定します。推奨は「複数への攻撃」です。

A.「右(または左)プレイヤーへの攻撃」

プレイヤーはそのすぐ右(または左)隣に座っているプレイヤーにしか攻撃できない。

B.「両側プレイヤーへの攻撃」

プレイヤーは自分の両隣に座っているプレイヤーにしか攻撃できない。

C.「複数への攻撃」

プレイヤーはすべてのプレイヤーに同時に攻撃できる。攻撃プレイヤーはクリーチャーごとに攻撃先プレイヤーを選択します。防御プレイヤーは自分への攻撃に対してのみブロッククリーチャーの指定を行えます。

コンスピラシー特有のカード紹介

『コンスピラシー：王位争奪』には前作『コンスピラシー』から引き続き特有の能力を持ったカードが数多く存在します。

『コンスピラシー：王位争奪』で登場した新能力



“統治者になる”

ゲーム開始時は誰も統治者ではありません。カードの効果や戦闘によりそのゲームでただ一人の統治者になることがあり、統治者であるかどうかを参照するカードが多く登場します。統治者となったプレイヤーは以下の誘発型能力を得ます。

- あなたの終了ステップの開始時に、あなたはカードを1枚引く。
- クリーチャーが1体あなたに戦闘ダメージを与えるたび、そのクリーチャーのコントローラーが統治者になる。



“会戦”

攻撃先に選んだプレイヤー一人につき+1/+1の修正を受けるので、一度に多くの対戦相手に攻撃しているほど強くなる多人数戦ならではの能力。



“動議”^{どうぎ}

『コンスピラシー』にあった「議決」のように投票を行う。ただ「投票」と違うのは投票でどちらにするか選ぶのではなく、どちらの効果にするか選ぶだけなので単純に票が多くなればなるほど強いことに。



“使噓”^{しそう}

対戦相手のクリーチャーに攻撃を強制することができる。

自らの手を汚さずに攻撃できるのは強力だが意図した先に攻撃させるには相手を誘導する話術も必要になる。



“両策”^{りょうさく}

唯一この1枚だけが持つ能力。カード名を2つ指定する以外は秘策と同じ。

前作『コンスピラシー』から引き続き登場する能力



“策略”

デッキには含めず、ゲーム開始時に統率領域においておくことで機能する。策略カードは何枚でも統率領域におくことができる。



“秘策”

カード名を事前に指定して裏向きの状態でゲームを開始する策略カード。カード名の指定は自分以外にはわからないようにメモしておき、必要なタイミングで表向きにする。



“ドラフトするに際し、これを公開する”

あなたがこのカードをドラフトしたことがわかるように一時的に公開し、記録するなどの処理が終わると通常通り裏向きで置かれる。



“表向きの状態でドラフトする”

通常、ドラフトしたカードは伏せて置くがこれはピックアップしたことがわかるように表向きしておく。カードに書かれた裏向きにするタイミングがくるまで表面が公開されたままになる。



“記録する”

一部のカードには“記録する”と書かれており、指示された情報をメモ用紙などに記録する。記録した内容は公開情報となり、自分がドラフトした同名カードすべての共有情報となる。複数の記録がある場合、どれを適用するかはカードに書かれています。





お問い合わせ

マジック：ザ・ギャザリング カスタマーサポートセンター

電話番号:03-4477-4637 受付時間:月～金 10時～18時